



あなたの困りごとが、 新しいビジネスに?!

🌱 サービス創造の種を見つけよう 🌱

日常生活の中で感じる、ちょっと不便なことや不満なこと。

そんな「困りごと」を、企業にぶつけてみませんか？

企業がビジネスとして解決に乗り出したくなるような、
多くの人が共感する「困りごと」のエピソードを大募集します！

あなたの困りごとを受けて立つ企業は、
サービス創造学部を学ぶをサポートする「公式サポーター企業」62社。
多彩な業種の中から1社を選んでご応募ください。詳細はこちらから！



賞金最大
3万円

サービス創造大賞 2022

応募のヒント

サービス創造の種って何だろう？

サービスとは、便利さ、快適さ、楽しさ、安心・安全といった「目に見えない価値」を提供すること。逆に言えば、上記と反対の不便さや不快さなど、さまざまな「困りごと」の中にこそ、新しいサービスを生み出す「サービス創造の種」が詰まっています。

あなただけでなく、周りの人が感じている困りごとや、意外と気付かれていない困りごと、将来問題になりそうな困りごとなど、視野を広く考えてみてください。また、それを解決してくれそうな企業をどう選ぶかも、評価のポイントです。

あなたの困りごとが多くの人に共有されて、新しいサービスが生まれるかも？ ぜひ奮ってご応募ください！

審査基準

- その困りごとを多くの人々が共有しているか
- その困りごとをすでにどこかの企業が解決していないか
- 発想や着眼点がユニークか
- エピソードが具体的に記述されているか
- 文章が正確で分かりやすいか

応募の例

下記を参考に、具体的なエピソードを含めてご応募ください。〇〇〇〇の中の企業名は公式サポーター企業の中から1社選び、指名した理由も合わせて教えてください。

たとえばこんな困りごと／

例
その1



プラゴミの分別をもっと

ペットボトルは分別されているが、弁当などのプラスチック容器も本来リサイクルできるはず。どうすれば分別が進みますか？

指名企業 株式会社〇〇〇〇〇

指名理由 売るときやゴミ箱などで工夫ができそうだから。

例
その2



自転車通学が怖い

車道を走ると路上駐車が多くて避けるのが怖いし、歩道を走ると歩行者とぶつかりそうになります。何かいい方法はないですか？

指名企業 〇〇〇〇〇株式会社

指名理由 安全に対する解決策を持っていそうだから。

例
その3



若者の投票率が低いこと

選挙に行く人が周りに少ない。みんなが政治に関心を持たないままだと、将来良くないことになるのでは？と不安に思っています。

指名企業 〇〇〇〇〇株式会社

指名理由 メディアの力を生かして解決してほしいから。

サービス創造大賞 2022 募集概要

- 課題：「サービス創造の種を見つけよう」
- 募集期間：2022年7月1日(金)～9月30日(金)
- 応募資格：全国の高校生
- 賞：大賞 1件 (3万円)
優秀賞 5件 (図書カード1万円)
高校賞 30校まで (図書カード2千円)
※高校を通じて10名以上の団体応募の場合、各校から1名選定

エントリーは
こちらへ



PC・タブレット



スマートフォン

主催 千葉商科大学 サービス創造学部

お問い合わせ 学部事務課 サービス創造学部担当 e-mail:satai@cuc.ac.jp

詳しくはWebへ！

サービス創造大賞2022

検索